

平成30年度 第2回政策推進会議報告

日 時 5月7日 9時30分～11時24分

場 所 4-1会議室

出席者 21人

1 平成30年度重点課題事項の公表について

各局長等から資料に基づき報告。(以下、主な質疑等)

【企画財政局】

(市長) 総合計画の後期期間がスタートしたので、施策評価も更にバージョンアップを目指したいと思っており、主要取組のほか、協働の部分や私たちの組織のマネジメント、人材育成といった部分も評価の対象としていく。その中で、4番の指定管理者制度や5番の市民意見聴取プロセスの状況についても、しっかりと課題認識したうえで改善に向けたアクションに繋がっていきたいと思い重点課題にあげていただいた。特に指定管理者制度については、例えば再委託がどうなっているのかというような制度上もしくは業務効率上の観点と、官民連携の強みが発揮されているか・単なる丸投げになっていないかという観点の2つの柱があり、両方ともしっかりやっていきたいと考えている。各局にも関わりが大きいと思うのでよろしくお願ひしたい。

【ひと咲きまち咲き担当局】

(市長) 特に5番のシティプロモーションについては、本当に全庁的な課題であり挑戦事項である。これまで、シティプロ指針に基づき、魅力を高めていくことと課題を解消していくことを両輪にして、まちの魅力を増進していこうということで取組を進めてきた。課題をほったらかしにせずこういうことをやってるんだという途中経過もきちんと発信していくことで、より多くの共感や協力、参画が得られるんじゃないかというふうに思うので、そこを強化していきたい。また、定住・転入促進についてもここに記載してもらっている。尼崎市は非常に利便性が高く転入も転出も多いという特徴のあるまちだが、そうであっても、尼崎市に縁をもっていたいでいる間、このまちで色んな人と出会い、色んな経験をして、協働のスイッチが入っていくというまちづくりを目指していくのが私たちのシティプロモーションの肝だと思っている。各局で色々な事業が展開されているが、ここはみんな同じ共通認識で頑張っていきたい。

【総務局】

・4番の会計年度職員については、外郭団体での職員の任用においても検討する必要があるか。
(森山副市長) 外郭団体は臨時的任用、嘱託、正社員のような形で任用しているところが多いが、いわゆる嘱託の専門性ということになったときに、嘱託という言葉が今までどおり正しいのかという整理が必要となると思う。

(岩田副市長) 現在、私自身が理事長を務めている外郭団体も複数あるが、この動向については注視しており、他の外郭団体においても意識していると思う。そこは総務局の情報提供や支援が必要になってくると思うので、よろしくお願ひしたい。

(市長) 当然、外郭団体の主体性のもとに取組が進む前提であるが、一定のサポートが必要な

ところはこれを機にやるのがいいだろう。

(岩田副市長) 給与体系等はほとんど市に準拠しているので、市の制度が変わるならそれに合わせて考え方を導入していくほうがいいと思う。

・1番の業務執行体制の見直しのところで、市民課をモデル課として一部委託の実績を検討するという話があったが、来年度の更新に向けての準備もあるので、それに間に合うようなスケジュール感でお願いしたい。

(市長) 総務局は他にもやりたいテーマがあり、戦力が分散しすぎないようにしたい。したがって、市民課の検証については市民協働局にも主体的に取り組んでいただくという前提になっている。この業務執行体制の見直しについては、価格を抑えるという意味の効率性だけではなく、公共調達基本条例を制定した理念に則って、質を担保するということも含めた効率性の観点と、官民の強みが生かされた委託になっているかという協働の観点に加えて、私たち市職員に本来必要なノウハウがしっかりと継承されているかという点が非常に大事であり、ここが瓦解するようであれば引き返さないといけない。どのような形であればそのリスクにしっかりと対応できるのかということは非常に大きな課題となっているので、そこを重点的に検証ポイントにしていきたいと思っている。また、これから全分野でアウトソーシングが進むが、費用面だけではなく、非常に多角的な評価をしないといけないということでもよろしくお願いしたい。

・公営企業局においてもこれからアウトソーシングを進めていこうと考えているが、職員の処遇に対して下水道部の中からも問題提起をされている。特に現業の職員にとって、こういうやり方が本当にいいのか、本当にその職員が幸せになるのかという疑問が挙げられているので、少し協議をさせていただきたい。

(市長) これは経済環境局の環境部のあたりも同じだと思うが、かなり長期的なロードマップに基づいて過程を踏んでいくということになるだろう。一気にやるという乱暴なことはせず、業務の固まりごとにしっかりと対応していく。

(市長) 5番に記載のある「はたらきガイド」については、いまいち活用度が低いんじゃないかというふうに前から問題意識を持っており、全面改訂に合わせて調整会議等で皆さんの意見を聞きたいと思っている。一例を挙げれば、若手職員のジョブローテーションもこのガイドに記載しているが、団塊の世代が抜けて若返りが落ち着いてきたかなという今、例えば地域で育成した人のキャリアをその後どうしていくのか等も含めて、ローテーションの周期について議論するプロセスを経て改訂してほしいと総務局にはリクエストをしている。

【資産統括局】

・3番の大規模市有地の有効活用については、定住・転入促進に寄与していると思うが、これまでの取組の評価等について見える化を図ることが重要ではないか。

議会からも同じような意見をいただいているので、内部で検討させていただく。

(市長) 毎年だとスパンが短いかもしれないが、一定、大きなものが終わった時点で検証していくのがいいだろう。

(岩田副市長) これまでの取組とか5年後とか、どこかで線引きをして公表したほうがいい。分類立てて、例えば公共施設関係と学校関係をクロス分析するようなことも考えないといけないかもしれない。

(市長) 特に学校は未来を支えているというところが強く見える化されるほうがいいと思う。

ファシマネに関しては、方針 2 の予防保全に立ち向かうべく、財政との両立が非常に課題だが頑張りたい。方針 3 は効果的な運営ということで地味だが、新電力などで費用をしっかりと抑えていくということと同時に、施設自体が活用されているということが非常に大事だと思っている。どんなに費用をかけたとしても使われていないと意味がないので、きちんと利用されているかという観点でもしっかり検証出来ればと思う。

【こども青少年本部事務局】

(市長) これまでこども青少年本部会議には多くの局に出てもらっていたが、そういったレベルの会議のほか、更に内容を詰めた調整会議も行い、段階を整理して本部機能を再編・強化していきたい。主に教育、こども、企財、総務、あとは施設関係などで集まり、あまり拡散しない形で本部を強化したいと思ってるのでよろしくをお願いしたい。

【経済環境局】

・3 番の説明でひと咲きまち咲き担当局との連携と言っていたが、お城をターゲットとした連携はどのようになっているか。

ここは主にヘルスアップの健康経営の取組について示している。

・もちろん観光と商業関係は普段から日常的に関わっており、この間も尼崎城みやげ品評会という企画を行った。

【都市整備局】

・3 番のインフラの維持・整備・更新について、先日たまたま県道を通った時に、大丈夫かなと不安に思うような歩道橋があった。計画に基づき色々な整備を行っているとは思いますが、国や県と情報共有などはしているのか。

当然、本市も長寿命化計画に基づき、横断歩道橋も含めて橋梁の点検や補修を行っているが、細かいところまでは公表していない。とある市でランクを付けて公表したことにより市民をいたずらに不安にさせたということもあり、わざと見せないようにしている。県による区分については、実は我々も見せてもらえてないという現状だが、共有はしたいと思っている。オープンにはできないという悩みはあるものの、本市では客観的な指標と市民からの要望、それと職員の目という 3 つの視点で優先順位を決めようと思っている。

(市長) 橋や道路の不具合はたくさん目で見ないと情報が上がってこないの、業者さんに何か気が付いたら情報をくださいというような協定もまいている。気になった箇所でも、結果的に大丈夫だったということならそれはそれで良いので、情報をなるべく多く集めるような仕組が大事だと思う。

【総評】

(森山副市長) 皆さんの報告を聞き、ひとつの局だけで完結しない課題が非常に多くなっていると改めて感じた。この連携をどう図っていくかというところの調整をさせていただくのが、私の最大の仕事だと思っている。今年は後期計画のスタートの年なので、特にファミリー世帯の定住・転入促進と、地域振興体制をどう組み直して市民力を挙げていくのか・協働のスタンスをあげていくのかという部分に取り組んでいきたい。

(岩田副市長) 先日、30 年度に重点的に取り組む施策について外部に説明することがあったが、結構評判が良くて、昨年度の施策評価から決算・予算に繋いできた取組が評価されているのかなと感じた。また、他都市から来た人に「尼崎が変わった」と言ってもらえることが多く、お城にも期待されているようで、良い評価をいただいていると思う。それぞれの局で主要な

事業をあげていただいているが、どれも大事なことなので協力してやっていきたい。
(市長) 両副市長の所管も乗り越えて連携していかないといけないものもたくさんあり、私もなるべく局をまたがるものを中心に積極的に調整をさせていただきたいと思っている。何度も言うが、こうやってお互いにあまり遠慮せず率直に意見を交わし合ったほうが良い方向に向かうと思うので、今年度もチームワークをしっかりと大事にして頑張っていきたい。

2 その他

ひと咲きまち咲き担当局長から、ティーンズサポートチケットについて説明。

ひと咲きまち咲き担当局長から、第 39 回尼崎薪能について説明。

ひと咲きまち咲き担当局長から、10 万人わがまちクリーン運動におけるInstagramへの投稿について説明。

ひと咲きまち咲き担当局長から、「築城 400 年尼崎城できまんねん(年)イベント」事業スケジュール(5、6月分)について説明。

公営企業管理者から、SG 第 45 回ボートレースオールスターについて説明。

以 上